

大阪体育学会第50回大会

「高齢者の元気長寿への支援を考える」基調講演とシンポジウム

Lecture and Symposium : “Towards Successful Aging of Older Adults”

伊藤 章<sup>1)</sup>

Akira Ito<sup>1)</sup>

中塘二三生<sup>2)</sup>

Fumio Nakadomo<sup>2)</sup>

河鱒 一彦<sup>3)</sup>

Kazuhiko Kawabata<sup>3)</sup>

我が国は65歳以上の高齢人口が2010年に2900万人を超え、総人口に対して男性：20%、女性：25%となり、超高齢社会といえる。すなわち、高齢男性は5人に1人、女性は4人に1人の高比率にあり、なかでも自立者のみならず要支援者、介護者は益々増加傾向にある。このような状況を踏まえて大阪体育学会第50回大会では、基調講演およびシンポジウムを通して、高齢者を対象とした支援法、および教育・研究を総合的な面から考える機会として企画した。基調講演には田中喜代次先生（筑波大学大学院人間総合科学研究科教授）：「高齢者の元気長寿への支援を考える」、シンポジストとしては金憲経先生（東京都健康長寿医療センター研究所副部長）：「身体活動の指導からみた高齢者支援」、大和三重先生（関西学院大学大学院人間福祉研究科教授）：「日本の福祉行政施策からみた高齢者支援—介護保険制度と人材不足の課題—」、陳礼美先生（関西学院大学大学院人間福祉研究科教授）：「諸外国の福祉行政施策からみた高齢者支援」、白井みどり先生（大阪市立大学大学院医学研究科教授）：「看護師・保健師からみた高齢者支援—高齢者の「できること」を支援する環境づくり—」の4先生にそれぞれお願いした。各先生には、ご多忙にも拘らず快くご承諾を賜り、この場を借りて御礼申し上げます。

本誌に掲載した基調講演およびシンポジウムでの講演内容は、会員諸氏の高齢者支援に関する研究や教育のための参照になることを願っている。

---

1) 学会会長 大阪体育大学

2) 大会会長 関西学院大学

3) 実行委員長（司会） 関西学院大学